

- 問1 現在のオーストラリアの国旗は、青地を基調とし、左上にイギリスの国旗である「ユニオンジャック」が配置されたデザインになっています。このデザインが現代まで維持されている歴史的な理由を説明したものと、最も適切なものを選択してください。（2016年 山口県公立入試 類似）
- イギリスから最新の工業技術を導入して近代化を達成した記念とするため
 - オーストラリアの全人口がイギリスからの移民のみで構成されているため
 - かつてイギリスの植民地であったという歴史的なつながりを象徴しているため
 - イギリスと軍事的な合体を行い、一つの国家を形成していることを示すため
- 問2 7世紀初めのアラビア半島において、ムハンマドが唯一神アッラーの啓示を受けたとして開き、現代でも世界中に多くの信者がいる宗教は何ですか。（2019年 埼玉県公立入試 類似）
- イスラム教
 - キリスト教
 - 仏教
 - ヒンドゥー教
- 問3 ナイル川の流域で栄えた古代エジプト文明では、農耕に大きな影響を与える川のはんらん時期を正確に知る必要がありました。そのために天文学が発達しましたが、その結果として作られ、現代の暦の基礎ともなったものはどれですか。（2019年 埼玉県公立入試 類似）
- 太陽の動きを基準とし、1年を365日とする太陽暦
 - 時間を60秒、60分で区切るなど、数え方の基礎となった60進法
 - 月の満ち欠けを基準とし、約29.5日を1か月とする太陰暦
 - 農作業の記録をつけるために考案された、粘土板に刻む楔形文字
- 問4 世界の四大文明は、アフリカのナイル川、南アジアのインダス川、東アジアの黄河や長江といった大河の流域で成立しました。これらの文明が大河の周辺で発展した理由について、当時の社会の仕組みの観点から説明したものと最も適切なものはどれですか。（2018年 高知県公立入試 類似）
- 大河は他民族の侵入を完全に防ぐ天然の壁となり、軍隊を持つ必要がなくなったことで文化の研究に専念できたから。
 - 大河の周辺には、ピラミッドや巨大な城壁などの石造建築物を作るために必要な良質の石材が、世界で唯一豊富に存在したから。
 - 大規模な灌漑や治水工事を行うために、人々を効率よく組織し、まとめる強力な指導者が現れて国家が形成されたから。
 - 河川の急流を利用した水車によってエネルギーを確保し、それをを用いて青銅器や鉄器を大量生産する工業化に成功したから。
- 問5 1202年にイタリアのヴェネチアを出発し、ローマやコンスタンティノープルといった都市を経由してエルサレム方面へ向かった十字軍の遠征路に見られるように、この時代の出来事が都市の発展に及ぼした影響について述べた文として正しいものを選びなさい。（2022年 山口県公立入試 類似）
- 遠征の輸送や兵站を担ったイタリアの諸都市が、地中海貿易の主導権を握ることで商業的に大きく繁栄した。
 - コンスタンティノープルが遠征軍の拠点となったことで、東ローマ帝国は軍事力を増強し、イスラム勢力をアジアから一掃した。
 - 遠征路となった都市はすべて戦火によって破壊され、それまで維持されていた地中海の都市ネットワークは消滅した。
 - ヴェネチアなどの都市は、宗教的な目的を優先して商業活動をすべて停止したため、市民の生活は困窮した。
- 問6 古代中国で成立した「殷」という国家に関する説明として、最も適切なものはどれですか。（2019年 千葉県公立入試 類似）
- インダス川の流域におこり、計画的な都市や排水施設をつくった。
 - チグリス川・ユーフラテス川の流域におこり、太陰暦や六十進法を生み出した。
 - 黄河流域におこり、亀の甲や牛の骨に文字を刻んで記録を残した。
 - ナイル川の流域におこり、ピラミッドや神殿を建設した。
- 問7 11世紀後半のヨーロッパにおいて、ローマ教皇を中心とするカトリック教会の勢力が拡大したことを背景に、教皇がヨーロッパの国王や貴族に呼びかけて始めた、聖地エルサレムをイスラム勢力から奪還しようとする軍事行動を何といいますか。（2021年 徳島県公立入試 類似）
- ルネサンス
 - 大航海時代
 - 十字軍
 - 宗教改革
- 問8 古代メソポタミアにおいて、粘土板に文字を刻んで情報を記録する仕組みが発達した背景として、当時の社会状況をふまえた説明として最も適切なものはどれですか。（2024年 奈良県公立入試 類似）
- 仏教の教えを周辺諸国に広めるため、持ち運びが可能な軽い素材に経典を記す必要があったため
 - 巨大な墳墓の壁面に、王の死後の世界を描いた物語を装飾として残す必要があったため
 - 亀の甲羅や動物の骨を焼き、そのひび割れの形から国の吉凶を占う儀式を重視したため
 - 都市国家の運営において、収穫した農産物の量や交易の記録を正確に残す必要があったため
- 問9 紀元前3000年ごろ、西アジアのチグリス川とユーフラテス川の流域で栄えた文明は、肥沃な土地を利用して灌漑農業が行われ、粘土板に刻まれる楔形文字などの独自の文化を生み出しました。この文明の名称として正しいものを選択してください。（2018年 高知県公立入試 類似）
- インダス文明
 - メソポタミア文明
 - 中国文明
 - エジプト文明
- 問10 古代メソポタミア文明において編纂されたハンムラビ法典の歴史的な意義について、当時の社会状況を踏まえた説明として最も適切なものはどれですか。（2026年 岐阜県公立入試 類似）
- カースト制度と呼ばれる厳格な身分秩序を法的に正当化し、宗教的な儀礼を遵守させることで、都市の衛生状態を保とうとした。
 - ナイル川の氾濫を予測する天文学と結びつけ、農業の時期を厳格に管理することで、神の化身としての王の権威を強化しようとした。
 - 身分制度を完全に否定し、すべての人々が法の下で平等であることを宣言することで、市民による民主的な政治を実現しようとした。
 - 法を文章化して明示することで、支配者の主観による不公平な裁判を防ぎ、多民族が混在する広大な領土を安定して統治しようとした。
- 問11 古代中国の王朝である殷（商）において、政治のあり方と文字の成り立ちについて述べた文として、最も適切なものを選びなさい。（2020年 岐阜県公立入試 類似）
- 亀の甲羅や牛の骨に占いの結果を刻む甲骨文字が使われ、それが漢字の原形となった。
 - バビルスに記録された象形文字を用いて、ナイル川の氾濫を予測する天文学が発達した。
 - 粘土板に刻まれた楔形文字を用いて、目には目を、歯には歯をで知られる法典が記された。
 - 木簡や竹簡に墨で文字を書く技術が広まり、律令に基づいた法治国家の基礎が築かれた。
- 問12 紀元前3世紀に中国を初めて統一した秦の始皇帝が行った政策について、その内容として正しいものはどれですか。（2017年 大阪府公立入試 類似）
- 万里の長城を修築し、北方の遊牧民族の侵入を防ごうとした。
 - シルクロードを通じた西方との貿易を独占し、仏教を国教とした。
 - 科挙の制度を整え、家柄にとらわれず優秀な人材を官吏として採用した。
 - 文字や貨幣の統一を禁じ、各地の伝統的な文化や経済の自立を促した。
- 問13 現在のペルーなどに見られる、精巧に組まれた石壁を特徴とするインカ帝国の遺構に関連して、この地域の歴史的背景を説明した文として最も適切なものはどれですか。（2024年 新潟県公立入試 類似）
- 18世紀にスペインやイギリスが勢力を争い、先住民を味方につけたイギリスがアンデス全域を支配した。
 - 16世紀にポルトガルが大陸全体を植民地化し、先住民の伝統的な石造り技術をヨーロッパへ伝えた。
 - 16世紀にスペインが侵攻して帝国を征服し、植民地支配を通じて言語や宗教に大きな影響を与えた。
 - 18世紀にオランダが先住民の文明を保護する目的で進出し、キリスト教を禁止する政策をとった。

答え合わせ・解説

問1	答え 3 かつてイギリスの植民地であったという歴史的なつながりを象徴しているため	オーストラリアの国旗に描かれたユニオンジャックは、イギリスの植民地として開拓が始まった歴史を反映しています。1901年に連邦として独立した後、イギリスを盟主とするイギリス連邦（コモンウェルス）の一員としてのアイデンティティを保つために、このデザインが採用され続けています。
問2	答え 1 イスラム教	ムハンマドはメッカの商人の出身であり、唯一神アッラーを信仰するこの宗教を創始しました。当時のアラビア半島は多神教が一般的でしたが、厳しい修行ではなく信仰による救いを説いたこの教えは急速に広まり、世界三大宗教の一つとなりました。
問3	答え 1 太陽の動きを基準とし、1年を365日とする太陽暦	エジプト文明は「ナイルのたまもの」と呼ばれるほど、川のはんらんがもたらす肥沃な土壌に依存していました。はんらんの周期を予測することは、農作業の計画を立てる上で国家の死活問題であったため、天文学が高度に発達し、太陽に基づいた暦が誕生しました。なお、太陰暦や60進法、楔形文字はメソポタミア文明の主要な特徴です。
問4	答え 3 大規模な灌漑や治水工事を行うために、人々を効率よく組織し、まとめ上げる強力な指導者が現れて国家が形成されたから。	大河の流域で農業生産を安定させるためには、洪水を防ぐ治水や、田畑に水を引く灌漑といった大規模な土木作業が不可欠でした。これらの作業を統率する過程で、強力な権力を持つ王や指導者が現れ、階級や税の仕組み、文字による記録体系を持つ「国家」という組織が整えられていきました。
問5	答え 1 遠征の輸送や兵站を担ったイタリアの諸都市が、地中海貿易の主導権を握ることで商業的に大きく繁栄した。	十字軍の遠征では、兵士や物資を運ぶためにヴェネチアやジェノヴァといったイタリアの海港都市が重要な役割を果たしました。これらの都市は輸送によって多額の利益を得ただけでなく、東方の物産をヨーロッパに持ち込む地中海貿易の拠点として発展し、後のルネサンスへとつながる経済的基盤を築きました。
問6	答え 3 黄河流域におこり、亀の甲や牛の骨に文字を刻んで記録を残した。	殷は中国最古の王朝とされる国家で、黄河流域の肥沃な土地を背景に発展しました。占いに使われた文字は、のちに周辺諸国の文化にも大きな影響を与えることになります。他の選択肢は、それぞれエジプト文明、インダス文明、メソポタミア文明の特徴を説明したものです。
問7	答え 3 十字軍	11世紀末、ローマ教皇の権威が高まった時期に、キリスト教の聖地エルサレムをイスラム勢力から取り戻すための軍事遠征が提唱されました。この遠征軍は十字軍と呼ばれ、中世ヨーロッパの政治や経済、さらにはイスラム文化との交流に大きな変化をもたらす要因となりました。
問8	答え 4 都市国家の運営において、収穫した農産物の量や交易の記録を正確に残す必要があったため	大きな河川の流域で農業が発展し、多くの人々が暮らす都市国家が形成されるようになると、蓄えられた余剰産物の管理や、遠方との交易の内容を正確に記録・保存する必要が生じました。文字は、複雑化した社会の運営や徴税を円滑に行うための実用的な統治ツールとして発明されました。
問9	答え 2 メソポタミア文明	チグリス川とユーフラテス川の二つの河川の間に位置する地域では、定期的な増水によって運ばれる肥沃な土壌を利用した農業が発展しました。この地域では楔形文字のほかに、太陰暦や六十進法が考案され、その後の文明に大きな影響を与えました。
問10	答え 4 法を文章化して明示することで、支配者の主観による不公平な裁判を防ぎ、多民族が混在する広大な領土を安定して統治しようとした。	メソポタミアは周囲に遮るものがない開かれた地形で、多くの民族が絶えず侵入・交代する地域でした。異なる文化や習慣を持つ人々を一箇所にまとめて統治するためには、共通のルールを文章化（成文化）し、王の権威のもとで統一的な裁判を行う必要がありました。これにより、社会の秩序を保ち、国家としてのまとまりを強化することに成功しました。他の選択肢は、ギリシャの民主政、エジプト文明、インダス文明の特徴が混ざっています。
問11	答え 1 亀の甲羅や牛の骨に占いの結果を刻む甲骨文字が使われ、それが漢字の原形となった。	殷の時代は、王が占いによって国政の重要事項を決定する神権政治が行われていました。その占いの道具として亀の甲羅や動物の骨が使われ、そこに刻まれた「甲骨文字」が現在の漢字のルーツとなりました。他の選択肢は、エジプト文明やメソポタミア文明、あるいは後の時代の中国の制度に関する説明です。
問12	答え 1 万里の長城を修築し、北方の遊牧民族の侵入を防ごうとした。	始皇帝は、中国を統一した後に北方民族である匈奴（きょうど）の侵入を警戒し、それまで各地の国々が築いていた城壁をつなぎ合わせて大規模な万里の長城を修築しました。また、中央集権体制を強めるために、それまでバラバラだった文字、貨幣、度量衡（重さや長さの単位）を統一する政策を断行しました。
問13	答え 3 16世紀にスペインが侵攻して帝国を征服し、植民地支配を通じて言語や宗教に大きな影響を与えた。	アンデス山脈を中心に栄えたインカ帝国は、16世紀にスペインの征服者によって滅ぼされました。その後、スペインによる植民地支配が始まり、先住民は過酷な労働を強いられたり、ヨーロッパから持ち込まれた病気によって人口が激減したりするなどの大きな被害を受けました。支配とともにキリスト教の布教も進められたため、「キリスト教の禁止」という説明は誤りです。また、この地域において大きな影響力を持ったのはポルトガルではなくスペインです。